

目で見てわかる 機械保全・実践100例

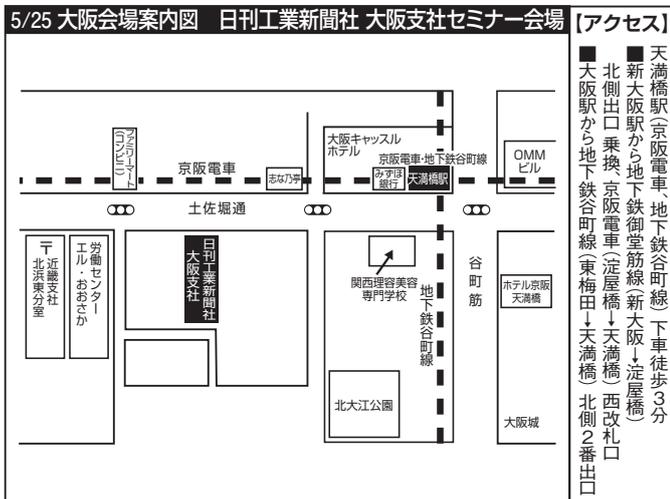
実物や写真を見ながら細かく説明します。

大阪会場 日時 2020年 5月 25日(月) 10:00~17:00 (9:30受付開始、休憩 12:30~13:30) **会場** 日刊工業新聞社 大阪支社 セミナー会場 大阪市中央区北浜東 2-16

東京会場 日時 2020年 5月 29日(金) 10:00~17:00 (9:30受付開始、休憩 12:30~13:30) **会場** 日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム 東京都中央区日本橋小網町 14-1 (住生日本橋小網町ビル)

受講料 44,000円(資料含む、消費税込)
 *同一会場にて同時複数人数お申し込みの場合2人目から39,600円
 *後日、別の方が追加で申込をされる際は、備考欄に先に申し込まれた方のお名前と複数割適用希望と記載ください。
 (記載が無い場合は通常料金のご請求となります。予めご了承ください)

主催 日刊工業新聞社



●申込方法 申込書をFAXにて下記にお申し込みください。ホームページからもお申し込みできます。(http://corp.nikkan.co.jp/seminars/) 受講料は銀行振込で受講票及び請求書が到着次第、開催日1週間前までにお支払いください。講座によりましては、申込者が最少催行人数に達していない場合、開催決定まで受講票ならびに請求書の発送を見合わせて頂く場合がございます。なお、キャンセルにつきましては開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。振込手数料は貴社でご負担願います。
 ※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でご来場ください。※講義の録音・録画は固くお断りいたします。

●申込先 日刊工業新聞社 総合事業局 教育事業部 技術セミナー係
 〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル) TEL 03 (5644) 7222 FAX 03 (5644) 7215
 e-mail: j-seminar@media.nikkan.co.jp

受講申込書		機械保全100		※○印を記入してください (5/25 大阪) (5/29 東京)		お申し込みは FAX 03-5644-7215	
■受講料: 44,000円(資料含む、消費税込) *同一会場にて同時複数人数お申し込みの場合2人目から39,600円				※振込手数料は貴社にてご負担ください。			
会社名	フリガナ			業種			
氏名	フリガナ	部署・役職					
				TEL			
所在地	〒			FAX			
				E-mail	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/> チェックをしてください。		
備考							

※お申込み受付後、受講票ならびに請求書をお送りいたします。

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。なお、宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター 情報事業部 nkmail01@nikkansc.co.jp

開催主旨

現場の生産設備が老朽化やメンテナンスを行わないで設備を稼働させていると様々な故障が発生します。

現場の設備が故障で停止すると、生産活動に大変大きな影響が発生します。生産設備をいかに故障なく継続して稼働できるかが今後多くの企業で求められることとなります。

現場生産設備で実際に発生したトラブルはどのようなことがあるのか、生産設備が故障した原因はどのようなことであったのか、故障した設備をどの様に修復したかを事例と解決方法について説明をします。他社で発生した実際の事例をもとに紹介を行い、どの様な保守メンテナンスを行ったか解決方法と今後再度生産設備が故障しないように現場設備ではどのようなことに注意しなければならないかを実際の現場写真を用いながら説明をします。他社の事例と解決を参考にしながら、自社設備の設備保全に結びつけることで、自社の設備を延命することになります。実際起こった現象を過去に経験した事例を参考にしながら解決方法を見出すのが稼げる保全マンの仕事になります。私が実際企業の中で経験した事例をもとに、解決を行った方法を写真や図で説明をしながら解説を行い、また、解決方法の糸口を説明しながら、どの様な知識や技能が必要かなど、これから始める稼げる保全マンになる為の導入として考えています。

講師

高度ポリテクセンター 勤務、東京都現場訓練支援事業の指導者 **竹野 俊夫 氏**

【略歴】 1965年、大阪府生まれ。1990年、労働省管轄職業訓練大学校卒。1991年、雇用促進事業団(神奈川県技術開発センター勤務)、1999年より国際協力事業団へ出向(インドネシア、ウガンダへ派遣)、2003年より雇用・能力開発機構(千葉センター勤務)、2008年より高齢・障害・求職者雇用支援機構・高度ポリテクセンターに勤務する。現在は、素材・生産システム系開准教授、素形材関係団体の講師、防衛省陸上自衛隊(技能・整備)予備自衛官(階級2等陸曹)、東京都墨田区商工業アドバイザー(現、東京都現場訓練支援事業の指導者)を務める。
企業の工場設備の保守メンテナンス方法や機械保全方法を現場で指導し、改善提案や設備の延命につながる職業訓練を展開する。国際協力事業団(JICA専門家)でアフリカ(ウガンダ)、インドネシアにおいて小型船舶エンジン・自動車整備を指導。また、現地飲料水工場、砂糖工場、ビール工場などで生産設備の保守・保全方法を現地スタッフに指導。防衛省陸上自衛隊では、日本国内が大規模災害や有事の際、装備品や車両などの整備を行う。墨田区商工業アドバイザー(現、東京都現場訓練支援事業の指導者)として、東京都墨田区内の中小企業への技術支援や現地改善指導などを行っている。
著書に「目で見てわかる 稼げる機械保全」(2011年)、「目で見てわかる 稼げる電気保全」(2012年)、「目で見てわかる 稼げる設備保全」(2012年)、「目で見てわかる機械保全 実践100例」(2013年)「目で見てわかる機械保全チェックシートのつくり方・使い方」(2014年、いずれも日刊工業新聞社)がある。

プログラム

第1章 締結部品編

- 1-1 ボルトを取り外す時の注意点とは
 - 1-2 ボルトを再使用するか、新品に交換するかの判断とは
 - 1-3 折れたボルトは、どう外すのか
 - 1-4 取り外したボルトをどう整理するか
 - 1-5 プラスねじの頭部がなめた時の外し方
 - 1-6 ボルトを締め付ける時の注意点とは
- ※実物と実習、写真を通じて現場での締結部品の損傷事例を紹介します。

第2章 軸受部品編

- 2-1 I 電動機の軸受が壊れた原因(コンプレッサーの電動機)
 - 2-2 II 電動機の軸受が壊れた原因(油圧ポンプの電動機)
 - 2-3 III 電動機の軸受が壊れた原因(真空ポンプの電動機)
 - 2-4 軸受の取り外し方、取り付け方
 - 2-5 軸受が繰り返して損傷する原因
 - 2-6 軸受を取り外す工具の選択方法
- ※損傷した軸受の確認方法や、早期に損傷した原因を把握する手法を解説。また、写真を通じて現場での軸受の損傷例を紹介します。

第3章 空気圧装置編

- 3-1 エアシリンダの速度制御ができない原因は
- 3-2 空気圧回路をよく確認するには
- 3-3 エアシリンダの設置の仕方は
- 3-4 圧力制御弁の調整ができない
- 3-5 レシプロコンプレッサのフィルターから大量のオイル漏れ
- 3-6 レシプロコンプレッサがエアを圧縮できない

3-7 エアコンプレッサが燃えた

3-8 ソレノイドバルブからエア漏れ

※実物と実習、写真を通じて現場での空気圧装置の損傷事例を紹介いたします。

第4章 油圧装置編

- 4-1 油圧シリンダから異音がする
 - 4-2 油圧ポンプからオイル漏れを頻繁に起こす
 - 4-3 油圧ポンプの種類を見分けるには
 - 4-4 油圧タンクのオイルがすぐに無くなる
 - 4-5 油圧シリンダを取り外す時の注意点
 - 4-6 油圧ポンプの軸継手を交換した時の注意点
- ※写真を通じて現場での油圧装置の損傷事例を紹介いたします。

第5章 伝達装置編

- 5-1 チェーンが偏摩耗してしまう
 - 5-2 チェーンが切れた原因
 - 5-3 チェーンの交換時の注意点
 - 5-4 Vベルトの良否点検
 - 5-5 動力伝達軸の損傷
 - 5-6 軸継手のメンテナンス方法
- ※実物と実習、写真を通じて現場での伝達装置の損傷事例を紹介いたします。

第6章 密封装置編

- 6-1 オイルシールからのオイル漏れ箇所を探す
 - 6-2 オイルシールからオイル漏れが止まらない
 - 6-3 Oリングの種類と交換方法
 - 6-4 Oリングの損傷例
 - 6-5 配管接続の構造と使用する工具
- ※実物と実習、写真を通じて現場での密封装置の損傷事例を紹介いたします。